

ウェリントンの歩き方～ニュージーランド2011

ウェリントンはニュージーランドの首都ですが、人口38万人の小さな場所で、国の行政機関や国会議事堂、博物館に大学などがコンパクトに並んでいます。地理的には北島の最南端で、クック海峡を挟んで南島が望めます。最近、海岸に孤独なコウテイペンギンが上陸した話が新聞を賑わせましたが、至って平和な地方都市って感じのキャピタル・タウンです。

正直、ワールドカップが開催されなければ、訪問しない場所だったかも知れません。けれども、来た限りは目一杯楽しむのがポリシーですが、冷たい雨の中ずぶ濡れになって観戦したアルゼンチン対スコットランドの試合を楽しみ過ぎたお陰で、高熱が出て翌日の昼過ぎからは歩けない状態で、記憶さえありません。まあ体温計が手元に無かったので、計測して病院に行きたくならなかった事だけが救いかも。



さて、ウェリントン観光のスタートはシビックスクエアの超能力から。空間に浮かぶシルバーの球体は摩訶不思議。近づけば秘密のからくりが見えるかも知れませんが、「見える？見えない？」は、信じる者次第です。



続いてここからアートな欄干で飾られた陸橋を渡って、テパパに移動。テパパはニュージーランドの歴史や自然、文化、周辺諸島の情報など満載の博物館です。週末には、原住民マオリのショーや関係各国のパフォーマンスを体感することができます。この欠点は、展示物が充実すぎて、本気で研究する気になれば1日で回りきれないほどの情報量が提供されている事ですが、一部の特別展示を除いて入場無料ゆえ、2～3日に分けて見学するのが正解かも知れません。



ヨーロッパ風のお洒落な建物が並ぶショッピング街を曲がればケーブルカー乗り場に。ウエリントン自体が、斜面の下側を切り開いた港町で、急坂が多く建物の裏は山だったり、急斜面に建設したホテルの入り口が表は1階で裏が7階、高台に建てた個人宅へのアクセス方法が個人所有のモノレールだったり、日本に例えると、尾道の雰囲気ですね。





それでは、ケーブルカーに乗って高台へ。山上より市内を展望し植物園を通して蜂の巣の別名をもつ国会議事堂まで降りて来ます。近くには、オールドセントポールというゴシック様式の小さな教会があって、中を覗いてウエリントンの歴史を振り返りましょう。



環境保護という面から、特殊な囲いを施して外敵の侵入を防いでニュージーランド本来の動植物相を守るサンクチュアリが、ジーランディア。恐竜の生き残りと呼ばれるムカシカゲのテュアタラが子供を産み、飛べない鳥・タカヘが湖畔に遊ぶ。野鳥のトウイヤカガ、現在周辺の諸島部分にしか生息しない絶滅危惧種のサドルバックまでもが自由に飛ぶこの場所は、まさに自然の宝庫で、サエズリを聞きながらゆっくりと歩いてみたい秘密の楽園です。





続いての紹介は、オプションツアーより、「シールコーストサファリ」です。「海岸線を4WDのクルマで駆け抜けて、野生のアザラシを観察しながらマフィン片手にティータイム！」なんて謳い文句に乗せられてツアーに合流。ガイドは陽気なアルゼンチーナで、ツアー当日が稀にみる好天で、ガイド自ら写真撮影。しかも前日のラグビーでアルゼンチンが勝ってご機嫌でテンションの高いツアーとなりました。まずは山に登って高台から市内やクック海峡を展望。車窓に見えるのは野生の馬にヤギ、ダチョウ。トゥイのさえずりも聞こえ、海の向こうに雪をかぶった南島の山が見える。大自然を堪能しながら、続いて海岸線へゴーゴー。陽気にクルマを進ませた結果、4WDは見事、砂浜にダイブイン！

冗談かと思っていましたが、タイヤのエアを抜いて砂を掘って、それでもダメゆえ救助の4WDを呼んで牽引。待つ事1時間以上でしたが、野生のアザラシをじっくり観察して、ゆっくりタスマン海を眺めることができました。脱出成功後は、もっとたくさんアザラシが居る場所へ移動して、マフィン片手にティータイム。時間通りには帰れませんが、充実した一日を過ごせて幸福な気分になりました。





あと、今回体験したのが、サマータイム。9月25日の朝方の2時が国の取り決めで3時が変わるってやつで、突如1時間が消失します。テレビで告知し、公共機関にサマータイム採用のポスターを掲示し、ホテルでも各部屋に告知の書面が配布されます。7時に起きたら、8時だったなんて状況で、日本なら笑点を見ようとテレビを点けたらサザエさんが始まっていたって状態で、そりゃ歌丸さんが波平さんになんて信じられませんよね。まあ、数カ月後に、サマータイム解消で3時が2時に戻って、波平さんが歌丸さんに戻るようになるそうですから、座布団運びの山田クンもカツオくん・ワカメちゃんも安心できることになるでしょう。時差ボケじゃないけど、一時間飛んだら変に眠くなったり腹減ったりで体調がおかしくなりますね。

以上、ウエリントンの歩き方でした。

また、オークランドも3度目の正直でやっと晴天に恵まれ、ランドマークのマウント・イーデンに登り市内を一望、ワールドカップのメイン会場でもある完成型のイーデンパーク・スタジアムも見学してきました。今回は体調も悪くベストコンディションで旅を楽しむ事ができませんでしたが、さまざまな体験ができて充実した日々が過ごせました。





さて、来年はいずこへ行きましょうか・・・

(平成23年10月6日記: 旅は9月22日～29日)

Top
[トップ](#)
[↑](#)

Back
[戻る](#)



[City of Sails ～オークランド旅行 2012](#)